

1 目指す学校

狛江で育ち、狛江第一中学校で学んだことを生涯の誇りにできる生徒を育てる

2 経営理念

不易と流行の視点から、変わってはならない中学校教育の価値を見据えたとき、学校は「日常」の日々の地道な「営み」にこそ価値がある。

中学校教育は「自分の生き方、人間としての在り方」を学ぶことが本質的な目的である。自らの生き方を実現するために基礎的基本的な学力を身に付ける。自らの生き方や人としての在り方を学ぶために、学級、学年、生徒会、部活動などの教育活動で人権感覚や規範意識を高める。

3 基本方針

- (1) 教育目標； 向上・・学び合い 敬愛・・思いやり 共生・・責任
- (2) 生徒像； 1 公正な判断力と授業等への集中力 2 『挨拶・時間・美化』の実践力
3 人のために行動する力 4 対人関係調整能力 5 困難に耐える力
- (3) 教師像； 1 生徒理解力（良さを見つけ認める）
2 教科専門力（教科の専門家としての使命感と情熱と実践力）
3 生徒・保護者の信頼 4 教育公務員として責任（推進貢献力等）
- (4) 重点
自尊感情や自己肯定感を高め、自信 やる気 確かな自我を育む教育活動の推進点
～自分を他者との関わり合いを通してかけがえのない存在、価値ある存在として
とらえる気持ちを育てる～
○自尊感情を高め、学習意欲や基礎的基本的な学力の向上を図る。
「やった」「わかった」「できた」という学習の成就感
→「もっと学びたい」「学ぶことは楽しい」という意欲の向上
○自尊感情の向上を基盤とした人権感覚の向上
自分の大切さと共に他の人の大切さをみとめることが、知識理解だけでなく態度や行動に現れるようにする。
→自他の生命を尊重できる力
→「いじめ」を許さない意思と「いじめ」をなくす行動力
- (5) 校内研修
○生徒理解に基づく授業力の向上 言語活動の充実（習得・活用・探究）
・授業研究全員実施を行う（授業研究日 指導室訪問 中教研 2・3・4年次研修 都教委・都教職員研修センター訪問等）
・生徒の自尊感情の向上 Q Uアンケートと東京都版自尊感情測定尺度を活用した一層の生徒理解
- (6) 評価；生徒の実態の変容（基礎的基本的な学力の向上 人権感覚の向上 集団行動等）⇒学校評価 授業評価 人事考課等から評価

4 教育課程

『P D C A』（学校評価）（※特色ある学校づくりと授業時数確保）

- (1) 人権教育；『生命尊重と共生』 言語環境
いじめの早期発見・早期解消 不登校の減少 掲示 礼儀
- (2) 特別支援教育；①特別支援学級交流（授業と行事）個別指導計画作成 副籍充実
②通常の学級での対応 ③通級学級 個別の教育支援計画作成
- (3) 学習指導；授業改善⇒授業第一⇒学力向上（平均の確保）⇒週休日授業7回
①『分かる・考える授業』⇒動機付け（導入工夫等）・個人差対応・教材開発
⇒基礎基本の徹底⇒I C Tの活用 繰返し学習 反復学習 グループ学習等の実践

- ②『成果と課題が分かる評価』⇒指導と評価の一体化 評価規準の見直し
⇒評価の伝え方の工夫
定期テスト観点別問題作成と表示、関心・意欲・態度の評価研究
- ③少人数学習集団による指導の継続と徹底（数学 理科 英語）
- ④『授業秩序』⇒授業内生活指導（認めると叱る）⇒全体と教科ルールで徹底
- ⑤学習状況調査の活用（国都市）及び各種検定・コンクール＋作文等募集に参加
- ⑥指導評価計画作成4月 保護者と生徒への説明
- ⑦学習支援⇒学習教室＋放課後補充学習＋学習習慣・家庭学習リーフレット
- ⑧言語活動の充実 朝読書10分間 各教科における言語活動の指導
- ⑨体力向上 1校1取組（ロードレースを軸に）
- （4）生活指導；『コミュニケーション重視＋是々非々』の推進
 - ①全校一致の指導推進 約束事の確認・重点化と徹底 ＋ 事実確認及び共通認識と共通指導実践 『挨拶 美化 時間』推進 掲示物配慮
 - ②個別の課題把握・分析・具体的対応と指導
⇒1年生面談4月実施、生徒理解研修3回実施 日常的な情報交換
 - ③不登校生徒への柔軟な対応⇒週1回家庭連絡 配布物の確実な配布
テスト等への配慮 評価
（スクールカウンセラー週1回、家庭と子供の支援員週4回活用）
 - ④事故・事件・苦情⇒迅速 的確 誠実と連絡と対応⇒『チーム意識』と『組織力』
- （5）進路指導；全体計画・年間計画作成推進⇒キャリア教育の推進
進路相談（4月、7月、11月、12月）の充実と資料の工夫
職場訪問（1学年1日）と体験学習（2学年3日）
- （6）道徳：道徳教育と授業の意図的計画的推進（24項目）＋公開講座実施
- （7）『一中の総合』；全体計画と学年計画（1・2・3年テーマと方法）
実践の推進（全学年時間調整）＋新聞形式発表・一中の総合の発表会
＋職場訪問・体験
- （8）特別活動（感謝される体験の重視）；行事の重点化
⇒体育祭 合唱祭 ロードレース 作品展 ⇒ねらいと達成度評価
生徒会活動の活発化⇒生徒会朝礼工夫 挨拶運動と週番活動
ホワイトリボン（いじめの解消取組み） 特別支援学級交流
- （9）小中連携の具体的方途
公開授業参観 授業・生徒会交流 出前授業・模擬授業 研究会参加
- （10）環境教育；美化活動重視⇒日常清掃活動工夫 花びら・落ち葉清掃 多摩川清掃、CO2削減 等 ⇒ 社会へ貢献する活動

5 組織運営

- （1）OJT推進
 - ①校務分掌；職務分担と責任 組織力・チーム力 二人担任制
 - ②主幹・主任の計画実践と進行管理 文書管理・事案決定徹底 報告連絡相談
 - ③学年・学級経営；実態把握と重点設定（具体的手立て）連携 評価
 - ④人事考課；自己申告（目標・方策・自己採点）と面接 キャリアプラン
- （2）諸会議；運営委員会 職員会議 教科部会 分掌部会の効率化
- （3）保護者地域；開かれた学校 授業参観（土）と公開授業週間5回
ふれあいフェスティバルと地域行事への参加
外部人材活用（キャリア教育と講座等）
- （4）学校評価；評価計画＋自己評価＋学校関係者評価＋第三者評価
- （5）服務厳正；体罰（暴力と暴言）の根絶 交通事故 セクシュアル・ハラスメント
勤務時間 出勤簿 週案簿 名札 服装 会計処理 等
- （6）夏季休業短縮（8月28日～授業）